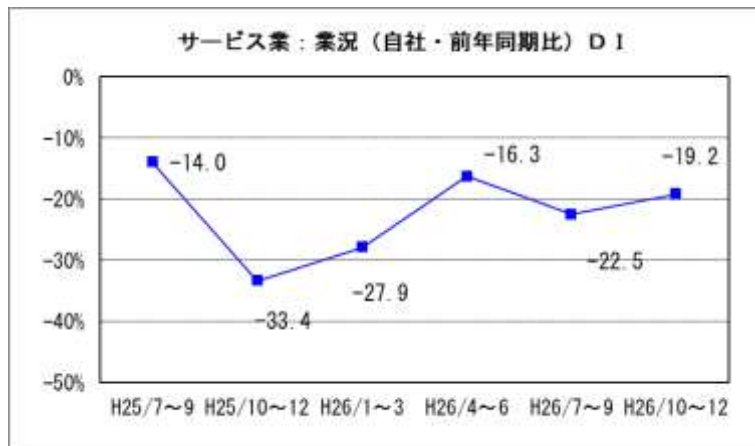


## 5. サービス業の動向

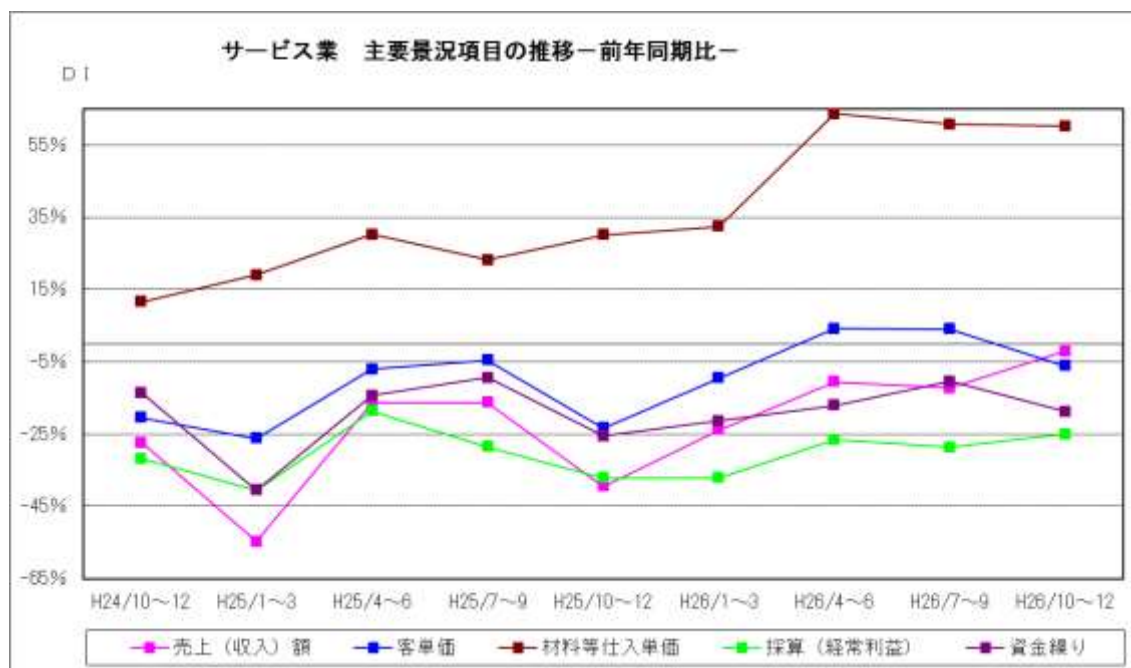
### (1) 業況概要（前年同期比）

今期の業況DI値は、マイナス19.2。前期マイナス22.5から3.3ポイント上昇した。来期見通しはマイナス14.2と改善の見込み。



### サービス業の主要景況項目 DI 値の推移（前年同期比・%）

	前々期 (26年4月~6月)	前期(A) (26年7月~9月)	今期(B) (26年10月~12月)	今期と前期の差 (B) - (A)	来期 見通し
売上(収入)額	▲ 10.6	▲ 12.2	▲ 2.0	10.2	▲ 8.5
客単価	4.2	4.1	▲ 6.1	▲ 10.2	▲ 6.2
材料等仕入単価	63.7	60.8	60.3	▲ 0.5	49.9
採算(経常利益)	▲ 26.6	▲ 28.6	▲ 25.0	3.6	▲ 22.9
資金繰り	▲ 17.0	▲ 10.4	▲ 18.7	▲ 8.3	▲ 12.5



(2) 主要項目の概況

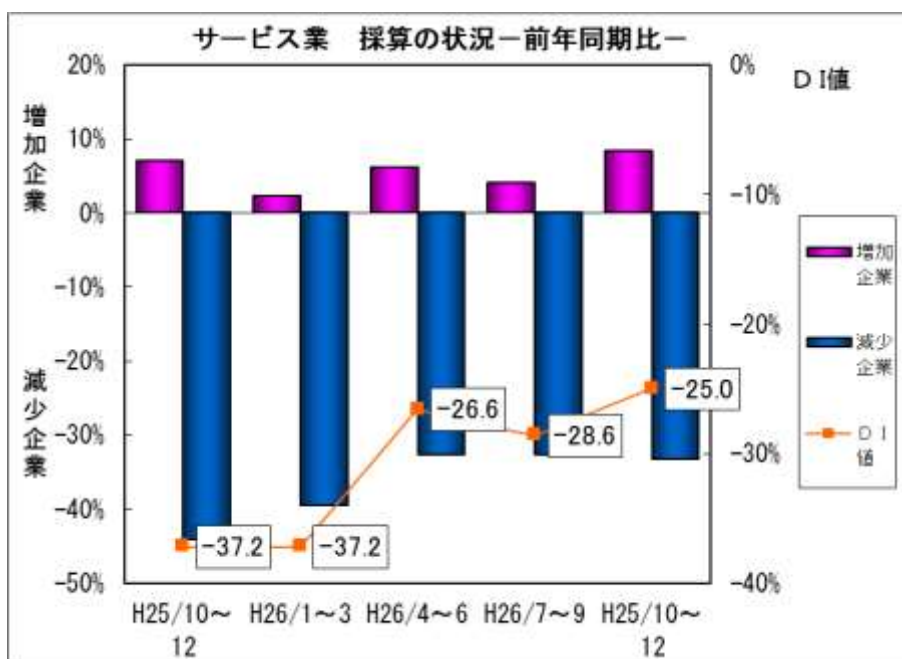
①売上（収入）額（前年同期比）

今期の売上（収入）額DI値は、マイナス 2.0。前期のマイナス 12.2 から 10.2 ポイントの上昇となった。来期見通しは、マイナス 8.5 と下落の見込み。



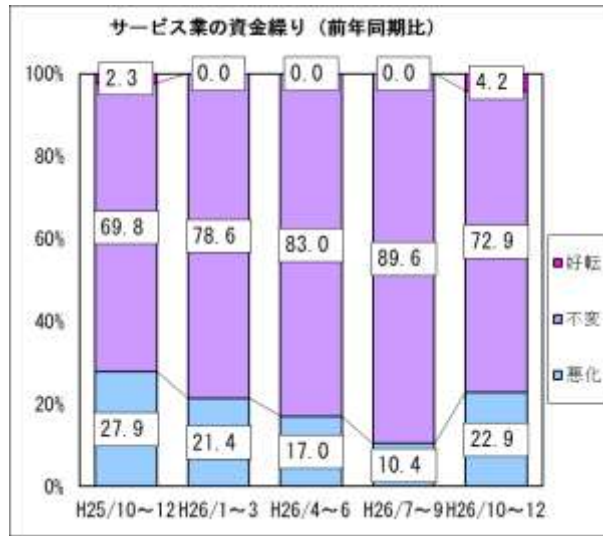
②採算（前年同期比）

今期の採算DI値は、マイナス 25.0。前期のマイナス 28.6 から上昇。来期見通しは、マイナス 22.9 と上昇の見込み。



③資金繰り（前年同期比）

今期の資金繰りD I 値は、マイナス 18.7。前期のマイナス 10.4 から、8.3 ポイント下落した。来期見通しはマイナス 12.5 と下落の見込み。

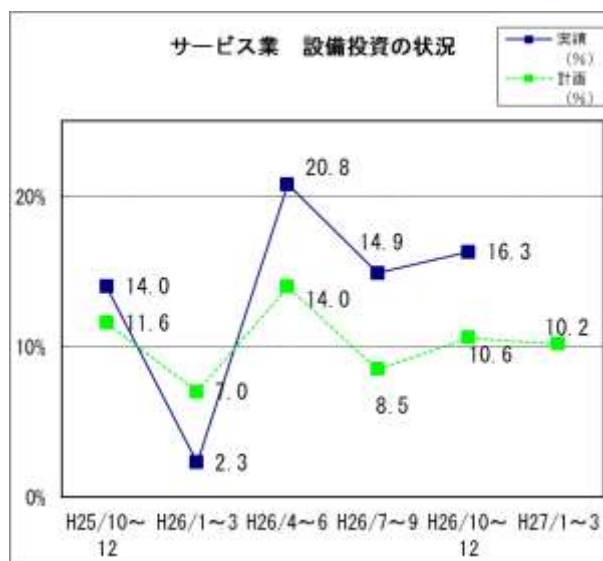


④設備投資

新規設備投資の状況

	あり	投 資 内 容								なし
		土地	建物	サービス	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他	
前期実施 (実数)	7	0	1	1	3	4	1	0	2	40
前期実施 (%)	14.9	0.0	14.3	14.3	42.9	57.1	14.3	0.0	28.6	85.1
今期実施 (実数)	8	0	2	2	3	0	0	0	1	41
今期実施 (%)	16.3	0.0	25.0	25.0	37.5	0.0	0.0	0.0	12.5	83.7
来期計画 (実数)	5	0	0	1	3	0	1	0	2	44
来期計画 (%)	10.2	0.0	0.0	20.0	60.0	0.0	20.0	0.0	40.0	89.8

今期設備投資を実施した企業は8社(16.3%)。前期(平成26年7~9月期)は7社(14.9%)であった。来期は5社(10.2%)が設備投資を計画している。

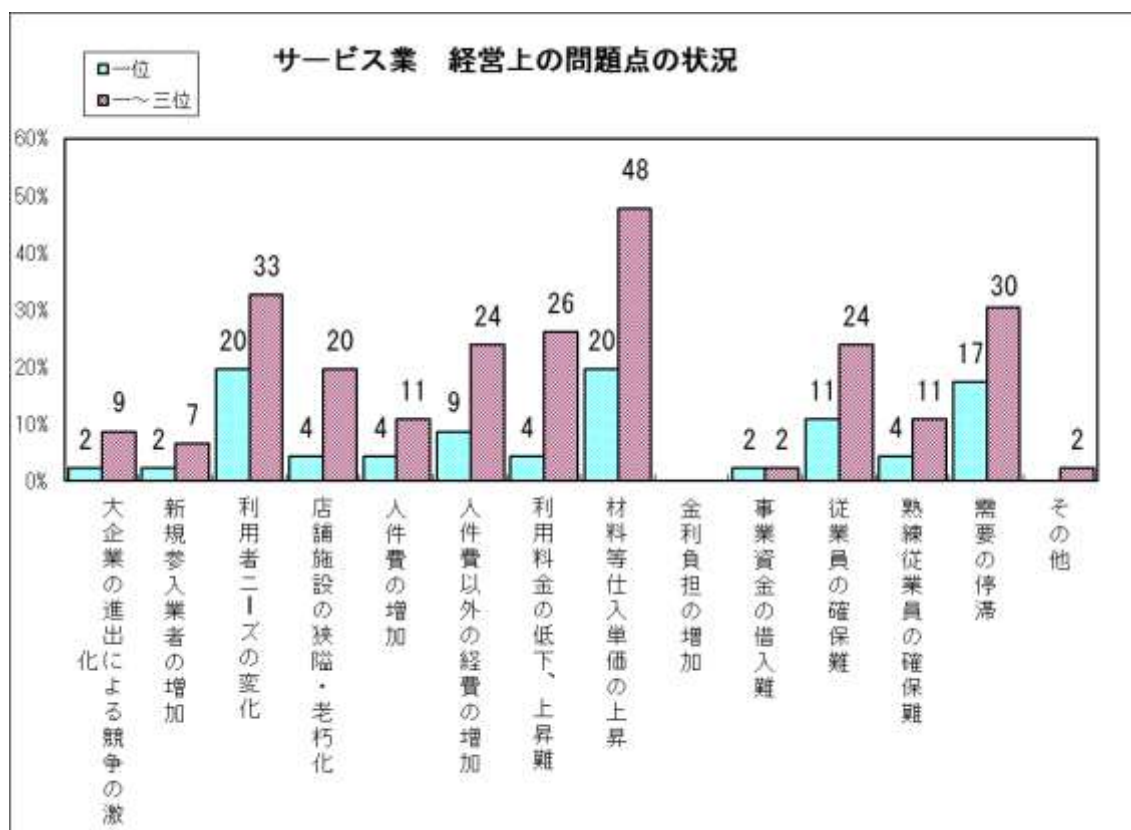


⑤経営上の問題点

今期、サービス業が経営上の問題点として一位から三位にあげる項目は、

- ・ 「材料仕入単価等の上昇」 (前期 54.3%→今期 47.8%)
- ・ 「利用者ニーズの変化への対応」 (前期 28.3%→今期 32.6%)
- ・ 「需要の停滞」 (前期 34.8%→今期 30.4%)
- ・ 「利用料金の低下、上昇難」 (前期 19.6%→今期 26.1%)

となっている。



以上